

生徒指導の全体計画

今年度の重点目標 自らとりくむ みんなでつくる

目指す子供の姿 自分や他者の気持ちを考え、進んで行動できる子

- 指導の心構え
「自己有用感を育む」「共感的な人間関係を育てる」「自己決定の場を設ける」3つの視点を大切にする。
- 重点的取り組み事項
 - ・あいさつの励行・規範意識の向上
 - ・自己肯定感と豊かな人間関係が構築された集団の形成
 - ・自分も相手も大切にするコミュニケーション能力の育成

○ 具体的方策

各教科・道徳	特別活動	児童理解	家庭・地域等との連携	生活目標の取り組み
一人一人の考えを活かす授業の工夫	学級経営の充実	児童個票の活用 (学習面・生活面)	学校だより	生活目標
自他の意見を認め合う雰囲気作り	縦割り班活動を中心とした異学年交流の積極的な実施	特別支援部と連携	学年だより	・学年単位で生活を見つめ直し、具体的行動目標を設定し取り組む。
思いやりの心を育てる授業の工夫	係活動、委員会活動の活性化	児童理解の会(4月)	連絡帳・電話	・振り返りを行う。
望ましい人間関係作りのための計画的なSST、SSEの実施と振り返り	いじめ見逃しゼロスクールの取組	情報交換会 (毎週月曜日)	学年懇談会	集会の活用 (全校集会, 児童集会)
豊かな体験を育む活動の実施と振り返り	全校一斉道徳授業	QU 調査による児童理解 (年2回)	個別懇談 (年2回)	・生活委員会
人権を考える授業の実施 「生きるⅠⅡⅢ」の活用	ありがとうメッセージの実施	ホットタイム (年2回・随時)	関係機関との連携 小中, 保小連絡会 巡回指導 保健福祉課 こども未来室 要対協	あいさつへの取組 ・学期ごとにスキル面、意欲面など見通しを持って実施する ・小中連携挨拶運動 (年2回)

生活目標

Ⅰ期：気持ちよくすごそう (4, 5月)	チャレンジ1：自分から元気よくあいさつしよう 2：みんなで時間を守って活動しよう
Ⅱ期：生活を見直そう (6, 7月)	チャレンジ1：学習ルールを守ろう 2：友達のよさをみつけよう
Ⅲ期：めあてに向かってがんばろう (8, 9, 10月)	チャレンジ1：自分のめあてを決めて、がんばろう 2：学級のみんなとめあてを決めて、がんばろう
Ⅳ期：友達となかよくしよう (11, 12月)	チャレンジ1：あたたかい言葉がけをしよう 2：仲間と協力しよう
Ⅴ期：感謝の気持ちを伝えよう (1, 2, 3月)	チャレンジ1：学級のみんなに ありがとうを伝えよう 2：お世話になった人に ありがとうを伝えよう

○ 留意点

- ・全職員が共通理解のもと一貫性のある指導を進める。
- ・月曜日に情報交換会実施。問題行動の未然防止、早期発見、即時対応に努める。
- ・学年で課題を明確にし、発達段階に応じて計画的、継続的に指導を進める。
- ・家庭や地域、関連機関との連携を密にし、児童理解に努めるとともに、即時・的確に対応し協力して指導を進める。